

「特別支援教育の指導充実の取組」

北海道小樽高等支援学校 主幹教諭 大谷幸枝

【取り組むきっかけ等】

北海道小樽高等支援学校へ転勤し、はじめて特別支援教育コーディネーターを命じられ、自校への教育相談や地域連携、パートナー・ティチャー派遣事業などに携わらせていただきました。

また、本校は開校以来、地域の教育力を活かした教育活動や、キャリア発達の支援を大切にしており、諸先輩方が築いてきた本校の特色ある教育課程を何とか引き継ごうという思いで、取り組んできました。

【取組を通じて、達成したこと、満足したこと、うれしかったこと】

特別支援教育コーディネーターとしては、パートナー・ティチャー派遣先の中学校や高校の先生方との相談を通して対象生徒に変容が見られたときや、教育相談を担当した生徒が本校で生き生きと学ぶ姿を見られたときに喜びを感じました。

教育活動の充実では、地域の中で本校生徒の取組が年を追うごとに認知され、地域の方々から生徒へたくさん言葉をかけていただけたことに感謝しております。また、そのことにより生徒の自己有用感が高まっていく姿を見られたときに、大きな喜びを感じました。

さらに、本校の10周年記念の様々な事業を地域の方々の御協力のもとで進められたことに、達成感を感じることができました。

【取組を進める上で、苦勞したこと】

特別支援教育コーディネーターの業務や研修会等で講師をさせていただく上では、経験、知識、心理検査技術など全において力不足を感じ、様々な研修会に足を運びました。また、不登校の改善や自己理解が思うように進まず、生徒の支援に手詰まり感を感じたこともありました。そのような折り、国立特別支援教育総合研究所専門研修に2か月間派遣していただき学ぶ機会を与えられたことに、深く感謝しております。

【取組を進める上で、日頃から心掛けていること】

相手の話をよく聞き、目の前の生徒にも業務にも、丁寧に向き合うことを心掛けています。

【今後の取組について】

生徒一人一人が、学校生活を通して自己有用感を高め、社会で生きていくために必要な力を身に付けていけるよう、本校の教育課程の充実に努めていきたと考えています。

北海道の特別支援教育に貢献できるよう、今後も研鑽をつんでいきたいと思っております。